

なぜ「在宅医療インテグレーター」か！

在宅の現場には様々な問題であふれています。必要な医療的サービスやケアを受けながら、患者さんが安心して望む場所で望むように過ごせるにはどうしたらよいのでしょうか。

各専門職は一生懸命関わっているのに、何かうまくいかない・・・

医学知識に疎い福祉職、社会資源や制度に疎い医療職、どちらの視点も必要だが・・・

患者さんの本当の想いはどこにあったのだろうか、あの支援は本当によかったのだろうか・・・

「連携」といいながら、単につなぐだけになっていないか・・・
こんなことを思ったことはありませんか？

各人が少しずつ知識・視野を広げ、協力していけたら、もっといい関わりができるのではないかと、私たちは考え、この講座を企画しました。

さまざまな課題を抱える複合的な困難事例においては、単に多職種・多事業所を紹介してコーディネート(調整)するだけでは対処できません。医療や制度等を俯瞰する知識をもち、様々な職種や方法をインテグレート(統合)していく役割が必要です。在宅医療インテグレーターはそのような経験とスキルをもつ人材を意味しています。

さまざまな課題を抱える複合的な困難事例においては、単に多職種・多事業所を紹介してコーディネート(調整)するだけでは対処できません。医療や制度等を俯瞰する知識をもち、様々な職種や方法をインテグレート(統合)していく役割が必要です。在宅医療インテグレーターはそのような経験とスキルをもつ人材を意味しています。

基礎編 2024年9月29日(日) 10:00～17:00(予定)

2024年10月6日(日) 10:00～17:00(予定)

応用編 2025年1月19日(日) 10:00～17:30(予定)

2025年2月16日(日) 10:00～17:30(予定)

●定員80名(定員になりましたら締め切ります)

●受講料(4日間)学会会員：25,000円 非会員：35,000円

●参加資格 以下3つの条件をすべてクリアすることのできる方(応募多数の場合には抽選とさせていただきます。)

- ① 医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士、介護福祉士、介護支援専門員、相談支援専門員、歯科衛生士等として5年以上の実務経験のある方
- ② 申込後に、在宅等での医療にかかわる経験事例(在宅症例・退院支援・入院支援・連携支援等)を事前課題として提出できる方
- ③ 全課程(オンデマンド教材の事前視聴、グループワークへの積極的参加を含む)への出席ができる方

●受講条件 以下2つの条件をクリアすることのできる方

① 安定的な通信環境(光回線推奨)とデバイス等をお持ちの方

・情報処理端末 (A)デバイス パソコンを使用 スマートフォンやiPadは不可

(B)OS Windows8.1以降, Mac OS 10以降(C)ブラウザ Chrome, Safari, Edge等

・カメラ 付属のカメラ、外付けのカメラいずれか ・イヤホン

② インターネット基本操作ならびに下記の作業ができる方

・ZOOMを使ってオンラインコミュニケーションができる

・YouTubeで動画を視聴することができる

・配信された資料の保存・印刷やWEBアンケートへの回答ができる

申し込み方法と
プログラムは裏面を
ご覧ください

●主催 一般社団法人日本在宅医療連合学会

●共催 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 日本難病医療ネットワーク学会

●後援 一般社団法人全国訪問看護事業協会 公益社団法人日本看護協会 公益財団法人日本訪問看護財団

一般社団法人日本神経学会 公益社団法人日本介護福祉士会 一般社団法人日本介護支援専門員協会

一般社団法人日本神経治療学会 一般社団法人日本ケアマネジメント学会

一般社団法人日本作業療法士協会 一般社団法人日本言語聴覚士協会 公益社団法人日本理学療法士協会

【お問い合わせ先】 日本在宅医療連合学会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-7 お茶の水サニービル7階

TEL&FAX 03-5802-3490 E-Mail:jimukyoku@jahcm.org

●プログラム(仮) (ワーキンググループで開発改良が続いているため変更の可能性があります)

基礎編(仮)

●事前学習(動画視聴)
がん、認知症の基礎知識、社会保障制度総論、意思決定支援 等

●9月29日(日)
在宅医療インテグレーター論
ワーク1 がん
ワークシートを使い方
ワーク2 認知症

●10月6日(日)
社会保障制度
ワーク3 臓器不全(心不全)
ワーク4 難病
まとめ

応用編(仮)

●事前学習
臓器不全、精神疾患の基礎知識
小児在宅医療の基礎知識 等

●1月19日(日)
在宅医療インテグレーター論(基礎編振り返り)
ワーク5 複合的な症例2
(COPD+認知症)

ワーク6 小児在宅医療の実際
●2月16日(日)
ワーク7 複合的な症例1
(精神障害+がん)

インテグレーションのプロセス
まとめ

【修了者の感想】

- ・ 有意義で職場の人間に(講座受講を)進めたいと思います。
- ・ 多職種の方だったり、同職種であっても立場の違う方々とグループワークを通して考えを聴く事ができて、大変勉強になりました。こんな考え方もあるんだ。こんな事も考えなきゃいけないんだ。と気付かされる事が多くあり、これからもたくさん学んでいきたいと思います。
- ・ それぞれの分野の専門の先生から講義を受けられて、貴重な時間でした。
- ・ この講義をきっかけに、訪問診療の新規の受付用紙を改定したり、相談に連携室に介入してもらったりと、実践にいかしています。
- ・ 受講開始後は、現場でも以前よりいろいろな視点で考え気づくことが多くあり、利用者様へ新たなサービスの提案をしたりケアマネとの調整を行ったりと、講座の効果を感じることができました。
- ・ 講義とともに、さまざまな地域の多職種のみなさんとグループワークさせて頂くことで、知識が深まり、視野も広がったと感じます。

●申し込み手順

- ①日本在宅医療連合学会のホームページから申し込みをしてください。<https://www.jahcm.org/integrator.html>
- ②申し込み受付メールに記載された口座に受講料を振り込んでください。
- ③事前課題があります。申し込み受付メールで詳細をお伝えいたします。
上記②③の完了を持って受講申し込み受付とします。

※テキストは印刷したものを開講日1週間前までにお送りします。その他の追加の配布物がありますが、当日配布資料は、Zoom内で共有しますので、各自で保存・印刷してご活用くださいますようお願いいたします



●注意事項

- ・ キャンセル(欠席)については、応用編全日のみ翌年に持ち越すことが可能です。1日だけの持ち越しは出来ません。持ち越し受講に伴う費用(テキスト代等)は改めてご負担いただきます。
- ・ キャンセル(欠席)時期によりテキストの返却をお願いする場合がございます。事務局より適宜ご案内いたします。
- ・ 修了証は基礎編・応用編全4日間の出席・事前事後課題の提出を行っていただいた方に交付いたします。

【お問い合わせ先】 日本在宅医療連合学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-7 お茶の水サニービル7階
TEL & FAX 03-5802-3490 E-Mail: jimukyoku@jahcm.org

